

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	広島文教大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	ヒロシマブンキョウダイガク
	大学等名1(代表大学等)※学校コード	F134310109893
	大学等名1(代表大学等) 学校本部所在地	広島県
	大学等名1(代表大学等) 学校種別	私立大学
	科目名	インターンシップ
	学部・研究科等名	教育学部, 人間科学部
	担当教職員名・役職	グローバルコミュニケーション学科 准教授 小原寿美
	受講者数実績年度	令和5年度
	受講者数※キャリア形成支援活動参加者数	18
	受入企業等数	15
	受入企業等名	5-Daysこども図書館(広島市こども図書館)、公益財団法人広島市文化財団 可部公民館、公益財団法人広島市文化財団 高陽公民館、ユウベル株式会社(マリエール広島)、公益財団法人広島市文化財団 広島城、株式会社SANKYO、一般財団法人宮島観光協会、三光電業株式会社、理研産業株式会社、株式会社イズミ、広島市農業協同組合、株式会社ロイヤルコーポレーション、野村證券株式会社広島支店、社会福祉法人FIG福祉会、株式会社エブリー(WEB)、株式会社ジュンテンドー、広島トヨタ自動車株式会社
	産学協議会の整理上の類型	2.タイプ2(キャリア教育)
	キャリア形成支援活動の分類	6.低学年(大学1年次~2年次程度)を対象としたキャリア形成支援活動 10.中小企業でのキャリア形成支援活動
上記以外のキャリア形成支援活動の分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該キャリア形成支援活動は、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事 2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容	
	1-3.上記回答内容に関する詳細	企業等の実際の業務に携わり、企業の方から直接フィードバックを受けている。地域の公民館では、企画やイベントの運営を行うとともに、地域住民とのふれあいの場を体験している。
要素②	2-1.当該キャリア形成支援活動を正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、当該取組の実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するキャリア形成支援活動の内容	1.当該キャリア形成支援活動は、教養教育科目として実施している 6.当該キャリア形成支援活動は、選択科目として実施している 8.当該キャリア形成支援活動は、休業期間中に実施している 2.当該キャリア形成支援活動は、キャリア教育科目として実施している
	2-2.「9.その他」で実施しているキャリア形成支援活動の内容	
	2-3.当該キャリア形成支援活動を実施する年次	大学 学部2年 大学 学部3年
	2-4.当該キャリア形成支援活動で付与される単位数	大学 2単位

項目	確認事項	届出内容
	2-5.上記回答内容に関する詳細	<p>本学インターンシップは、企業等において実際の就業体験を伴う活動を行うことによって「社会・人間・仕事・環境」について総合的に考えるための視点を養うものである。職業人の生の声を聴き、刻々と変化する現場の状況を肌で感じる体験によって、教室内の授業では得られない多くの学びを得ることができる。実習はもとより事前事後学習によって、その後の大学での学びを深化させることを目的とする。</p>
要素③	3-1.インターンシップ等の就業体験の実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、キャリア形成支援活動の教育的効果が発揮されるよう就業体験実施期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	<p>1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている</p> <p>2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている</p> <p>3.学生に対して、インターンシップ等の就業体験における成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている</p> <p>4.学生に対して、正規の教育課程としてのキャリア形成支援活動の実施目的や期待する教育的効果の理解を促している</p>
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	<p>1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている</p> <p>2.報告会等により、インターンシップ等の就業体験の成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている</p> <p>3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている</p>
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容	
	3-2-3.該当するモニタリング	1.インターンシップ等の就業体験実施期間中に、教職員が定期的に企業等に赴き、学生と面談を実施している
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容	
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細	<p>社会人としてのビジネスマナーや電話のかけ方、事前訪問のアポイントメントの取り方などについて、教科書を用いた集合事前学習を行っている。又、守秘義務の遵守については誓約書を作成し、企業に提出している。複数回の個別面談によって実習目標や志望動機の明確化を図った上で実習に臨めるようにしている。日報、実習報告書の書き方、企業への事前訪問も必須のプログラムとしている。</p>
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細	<p>実習後、①礼状のコピー、②日報、③実習報告書、④振り返りシート、⑤自己評価表の提出を求め、後期に振り返り面談を行っている。企業担当者を招いて、全員が実習報告会を行う。報告会の場で聞き手に伝わるように分かりやすく報告し、実習の一連のプロセスを経て得た気づきから、その後の大学生活における目標を設定する。また、実習報告書を学内ポータルサイトに掲示し、次年度以降の実習生が事前学習に活用できるようにしている。</p>
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細	<p>全ての学生の実習先に対して、教員による実習巡回とモニタリングを行っている。学生のモチベーションの確認、業務(課題)の理解、課題解決プロセスの実践、学び・経験の獲得に向けた連続的行動、他者への貢献と協働、今後のアクション等をヒアリングすることで、インターンシップの目的達成に向けた指導を行っている。加えて、実習先企業担当者による評価表記入と大学への送付、学生自身による自己評価表記入による振り返りと評価表提出によるモニタリングを行っている。</p>

項目	確認事項	届出内容
要素④	4-1.キャリア形成支援活動の教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をキャリア形成支援活動の実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている 2.社会で求められる汎用的能力等を客観的に測定するためのテストを用いて、キャリア形成支援活動の実施前後で回答を求めている
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み	
	4-3.上記回答内容に関する詳細	実習の事前事後での意識・行動の変容について検証するため、アンケートを行っている。また、振り返りを具体的に行い、実習以後の大学生活に生かすために、事前事後の個別面談を行っている。また、学科教員とのコミュニケーションをとることによって、事後の学びや学外活動の様子の変容について確認を行っている。好事例について学内研修会およびキャリア教育等で共有している。今後の新たな評価基準について、現在整備中である。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のキャリア形成支援活動の実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
	うち、就業体験の実施期間(5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合)	実施期間 5日間
	うち、就業体験の実施期間(5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合)	
	うち、就業体験の実施期間(5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合)	
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容	
5-3.上記回答内容に関する詳細	全ての受け入れ企業において、5日以上プログラムで実施している。事前に企業に対しLGBTQや疾患等の学生の情報共有を行い、ご対応いただいている。	
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている 4.受入企業等も、就業体験実施期間中の学生に対する評価を実施している 2.大学等が行う事前・事後学習等に企業等も参画し、協働して実施している 5.企業等と協働して作成した評価シートを活用し、具体的な効果を数値化して測定している
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容	
	6-3.上記回答内容に関する詳細	事前個別指導によって立てた実習目標に沿った実習を円滑かつ効果的に行うため、企業の担当者を事前訪問し、疑問点を解消し、担当者との事前コミュニケーションをとった上で実習に臨んでいる。そのため、学生の立てた実習目標達成に企業の担当者も何らかの形で関わることになる。受け入れ担当者は学生の評価を行うことになっており、学生の学びや気づきを多様化させる一助となっている。受け入れ担当者による事後報告会参加とフィードバックもある。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	UNIVERSAL PASSPORT RX (h-bunkyo.ac.jp)
問い合わせ先	大学等名	広島文教大学
	担当部署名	就職課
	担当者役職名	課長
	担当者氏名	田口 礼子
	電話番号	082-814-9998
	メールアドレス	rtaguchi@h-bunkyo.ac.jp